

特別支援学級 音楽科学習指導案

令和元年10月16日（水曜日）第2時限（さざんか2組）

指導者（T1）平賀 真司

（T2）長谷川 義洋

1 単元 曲の盛り上がりを表現しよう

2 指導計画（8時間完了）3／8

時 数	1	2	3	4	5	6	7	8
以下の学習内容を、1チャンク10分程度、1パーツ5分程度に組み合わせて行う（1時間4チャンクまで）								
チ ャ ン ク の 内 容	速度の 感じに 合った 表現	楽曲の雰 囲気を感じ 取った 表現	旋律の 感じに 合った 表現	拍の流れや フレーズを 感じ取った 表現	音楽を形づく っている要素 を生かした音 楽づくり	反復や変 化を感じ 取った表 現	楽曲の特 徴を感じ 取った表 現	音の重なり や響き を感じ取 った表現

3 本時の指導

(1) 目標 曲の盛り上がりを表現する。

(2) 準備 CD、音楽デッキ

(3) 本研究との関わり

本学級の児童は音楽がすきで、音楽が流れると自然に体が動き、楽しんでいる様子が見られる。A児は、音楽が流れると体を速く動かすが、自分にとって気持ちがいいリズムで体を動かしているだけで、音楽を形づくっている要素を感じ取っているとは言えない。

1学期の学習で、音楽を聴いて身体表現をすることによって、速度、拍、反復、音色、リズム、変化を感じ取ることができるようにしたり、ゲームや歌を通して、自然に呼びかけとこたえができるようにしたりした。児童は、速度の違いを身体表現だけではなく、楽器の強弱で表現したり、同じ速度の楽曲でも、音色や拍の流れの違いによって楽曲の気分の違いを感じ取り、楽曲によって身体表現の工夫を変えたりするなど、音楽を形づくっている要素を感じ取っている様子が見られた。

2学期の学習では、音階やフレーズを感じ取って身体表現したり、歌ったりする活動を行った。活動の様子から、A児が歌う時は大きな声で歌うことはできているが、強弱をつけて曲の盛り上がり表現することに苦手意識を感じた。強弱については、1学期の実践で、曲の速度の変化をリコーダーの強弱で表現したり、大きな音が聴こえたときには飛び上がって身体表現したりするなど、音の強弱は感じ取っているように思える。

本単元の学習では、旋律の動きを自分で身体表現することや、楽譜を見たり、友達の身体表現を観察したりするなどの視覚的支援によって音の強弱を感じ取り、歌唱するときに小さな声を出そうと意識できるようにし、曲の盛り上がり表現できるようにすることを主として進める。学習の進め方は前時までと同じく、単元の学習内容を1時間の授業に1チャンク10分程度、1パーツ5分程度に組み合わせ、8時間かけて達成する。

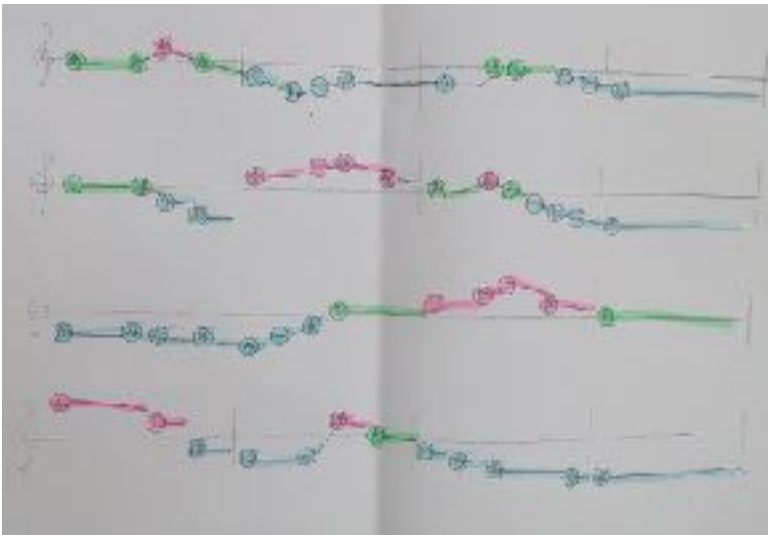
(4) 指導過程

時間 配分	学習活動	指導上の留意点

2分	1 本時の説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習内容を児童に伝える。</li> <li>○ 4つのチャンクに分ける。</li> </ul>
15分	2 呼びかけとこたえ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一つ一つ伝えながら板書し、色分けして囲む。</li> <li>○ 「かくれんぼ」で呼びかけとこたえを使ってゲームを楽しむ。（呼びかけは青、こたえは黄で掲示）</li> <li>○ 「森のくまさん」で呼びかけとこたえを楽しむ。</li> <li>○ 「幸せなら手をたたこう」で呼びかけと答えを楽しむ。</li> </ul>
15分	3 曲の盛り上がりを感じよう (旋律) (強弱)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「貨物列車」で列を作る。</li> <li>○ 「汽車は走る」で「しゅしゅ」を呼びかけ「ぼっぽ」を答えとして、呼びかけと答えを楽しむ。</li> <li>○ 「ドレミの歌」に合わせ、身体表現をする</li> <li>○ 「カエルの合唱」の図形楽譜を配る。</li> <li>○ カエルの合唱の旋律の山を、テニスボールを持った手で表現する。</li> <li>○ カエルの合唱の旋律の山の強弱（高い部分は音量を大きく低い部分は音量を小さく）を、ウッドブロックを使って表現する。</li> </ul>
10分	4 旋律の動きを意識しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ カエルの合唱を、旋律の山の強弱をつけて歌う。</li> <li>○ 「ふじさん」を歌う。</li> </ul>
3分	5 レッツテイクアチャンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 旋律の流れを示した図形楽譜のプリントを配り、旋律の高いところ（赤）は音量を大きく、ソの音（緑）は音量を中くらいに、低いところ（青）は音量を小さく歌う</li> <li>○ 「白鳥」のピアノの旋律を聴く。</li> <li>○ 「白鳥」のピアノの楽譜を見て旋律の動きを意識する。</li> <li>○ 「白鳥」のピアノの旋律の動きをリトミックスカーフを使って座りながら表現する。</li> <li>○ 楽曲に合わせて、歌唱する</li> </ul>

※T2は、一人で行うことが難しい児童の支援をする

### 【ふじさん 旋律の図形楽譜】



**【白鳥 ピアノ 旋律楽譜】**

